

時習 十月号

十月 五日

十月折り返し点 一学期終了

了

天高く馬肥ゆる秋…。

太陽の光も明るく澄み切
って爽やかな空気に包ま



れています。これからは、一学期のまとめの
時であり、二学期へ向けたスタートの時です。

元氣いっぱい(あいさつ名人、頑張ったかな?)

やる気いっぱい(聞き方名人になって勉強宿題

頑張ったかな?)

優しさいっぱい(相手のことを思いやり、言葉

遣いは丁寧でしたか?)

子どもは、学び合う仲間がいて互いに伸び
ていきます。元氣もやる気もやさしさも膨ら
んでいきます。一学期をしっかり振り返り、
(できたこと・できなかったこと・もう少し
できそうなこと)をみつめ、さらに二学期、



自分自身への挑戦として欲しいと
思います。頑張ったこの一年間
だったと最後に振り返りができ
るように、この中間点で、第二弾の口

ケットに点火させて欲しいものです。どうぞ、

実りの秋

ご家庭でのご支援ご協力をお願いします。そ
して、第六十四回運動会本番で見せてくれた
団結心と一人一人の頑張り、「やればできる」
という達成感が、これからの学校生活に活か
されてくることを期待しています。自分自身
の実りを豊に!

今年の夏は、猛暑続きで、秋はど
うなるのだろうと心配してしました
が、ここにきて秋らしくなってきました
した。昨日の退勤時(七時頃)には、
かすかに金木犀の香りがしてきました。
自然の草木は、猛暑の夏でも、
しっかりと秋の準備をしていたのだ
なと感心させられました。
一年間の中で最も爽やかで、絶好の
実りの季節になりました。学習の成
果、生活力の向上と実らせるものは沢山あり
ます。

さて、五年生は、先日
稲刈りして、乾かしてお
いた稲を脱穀しました。
まさに収穫の秋です。今
後は、十二月の学年行事
で、五年生みんなで収穫に感謝して楽しい餅
つき大会が開催されます。楽しみですね。



旭山動物園前園長小菅正夫氏の話より

先日、全国連合小学校長会北海道札幌大会
でのシンポジウムでの話です。テーマは「ふ

るさと夢と希望そして挑戦」より。

最北の動物園、廃園の危機に直面して、

「とにかく苦しかった、でも自分達には夢

があった。いつも十人で真剣に論議してきた。

何も発言しないことは、オッケイということ

だから、みんなが発言した。その中で、お客

さんは動物のことを知ってほしいそうだけど本

当の事は知らないことに気づいた。キツツキ

の餌の食べ方、キリンの食べ方、アザラシの

泳ぎ方等々。そこで発想したのが、担当して

いる動物の説明をそれぞれの飼育係がする

ということ。しかしそこに反対も起こった。

『自分は人と関わることが苦手だから動物

園で働いている』というAさん。しかし説明

会はすると決定される。そこで対人恐怖症で

赤面症のAさんは、何回も練習して、震えな

がら、汗をかきながら三十分間の説明会をや

り終える。ほかの九名は、きつとできないだ

ろうから、このプランはなくなると思い込ん

でいた。しかし、Aさんはやり遂げる。それ

が、みんなの自信に火を付けた。その後、A

さんは、自分がしゃべらないでいいように、

『動物に語ってもらおう』と考えた。(つまり、

動物の生態を分かりやすく展示する)行動

展示の出発点となった)この行動展示こそが、

あの旭山動物園の入場者数が、上野動物園の

入場者数を突破する要因となった。」

まさに夢への挑戦、逆転の発想でした。